



1



1, 2 | ジョイス・ラム《食火》 シングルチャンネル、2020年
3 | ジョイス・ラム《新異家族》 シングルチャンネル、2021年
4, 5 | ジョイス・ラム《家族に関する考察のトリロジー》 レクチャーパフォーマンス、映像、2021-2022年



4

ジョイス・ラム Joyce LAM

1989年香港生まれ、京都市在住。2013年ロンドン大学東洋アフリカ研究学院 (SOAS) 日本語・経済学科卒業。2016年慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科修了。2022年東京藝術大学大学院映像研究科メディア映像専攻修了。アートブックや雑誌、書籍の編集者としても活動。主な個展にTOKAS-Emerging 2022「家族に関する考察のトリロジー」トーキョーアーツアンドスペース本郷(東京、2022)がある。

joycetsin.com

あなたが眠りにつくところ

Where you fall asleep

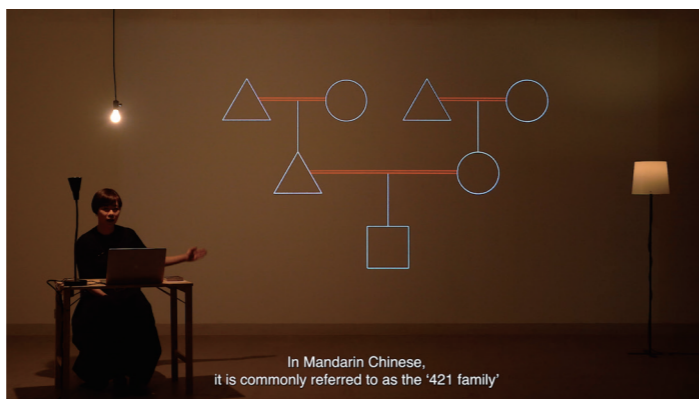
Where you

2023年6月17日[土] - 8月27日[日]

藤沢市アートスペース



3



5

あなたが安心して身体を横たえることができ、心許せる人がいて、本来の自分を取り戻せる場所はどこでしょうか。本展では、他者との関わりから個人の生き方を考察する作品を制作している、藤沢ゆかりのアーティスト2名を紹介します。

松下誠子は、平面や立体、アニメーション、パフォーマンスなど多岐にわたる表現により、社会の制度、規範、言説などから個人を守るための「セキュリティブランケット」をテーマに制作しています。今回は、箒、バッグ、枕など、家の中にあるさまざまなモチーフを組み合わせ、強い不均衡と抑圧に加え、日常に潜む虚栄心や通俗性、暴力性をもあぶり出すインスタレーションを展開します。

ジョイス・ラムは、香港で生まれ、カナダ、イギリス、日本で暮らした自らの経験をもとに、「家族」の概念や定義を再考する映像作品を制作しています。この度は、シェアハウスにおける子育ての様子を追ったドキュメンタリー映像《新異家族》(2021)の続編となる新作を発表予定です。子どもを介してシェアハウスの住人たちが緩やかにつながり、ともに育児に参加する姿を通して、血族だけに拠らない「家族」の在り方を提示します。

両名とも社会における自己の立場をみつめる個人的な営みから出発し、普遍的な問いかけをもつ作品へと昇華させています。本展は、目まぐるしい変化の時代に、個々人がより自分らしく生きるための方途を探る試みでもあります。

あなたが眠りにつくところ
Where you fall asleep

ジョイス・ラム
Joyce LAM

松下誠子
MATSUSHITA Seiko

眠りにつくところ